

發 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 2 日

松山市議会議長 原 俊 司 殿

松山市議会議員 渡 部 克 彦

次のとおり通告します。

発言順位	10	受領日時	12月 2日	午前・午後	11時 55分	2枚中 1枚目
質問等の方式		一問一答方式	・ 一括方式	発言時間	約 45 分	
答弁を求める者		・市長 ・農業委員会会长	・教育長 ・監査委員	・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・公営企業管理者		

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	学校給食の現状と学校給食における有機米及び有機野菜の導入について	(1) 食材の価格上昇の詳細及び保護者の経済的負担の詳細を問う。 (2) 市立小・中学校給食に、有機米や地場産米を導入することについて、どのような実績を上げ、今後はどう展開していく考えか。 (3) 地域の米農家と給食との長期契約、有機米や地場産米の導入、行政とJAによる流通支援などをセットにした政策について見解を問う。 (4) 有機米の納入では一定の成果が得られそうであるが、有機野菜については、どうすれば学校給食に納入できるのか、課題の解決方法を伺う。
2	城山の土砂崩れについて	(1) 緑町土砂災害生活再建金給付事業について、令和6年度末及び直近の予算施行状況と予算執行率を併せて問う。 (2) 城山の土砂崩れで被災した方々ができるだけ早く元の生活に戻れたのか。 また、被害を受けた建物などを原状回復することはできたのか。 さらに、緑町の被災住民が納得できているとお考えか、市長の見解を問う。 (3) 本市は緑町住民との対話ができているか、市長の見解を問う。 (4) 本市と緑町住民の主張が食い違っていることは具体的に何だと認識しているのか。 (5) 緑町住民が何を望んでいると認識しているのか。 また、望んでいることに対して具体的に何を協力しているのか。 (6) 緑町住民から本市の対応は誠実で信頼できると評価されていると考えているか。
3	中学校の部活動の地域移行について	(1) 部活動の地域クラブ化に当たり、今後必要となる指導者数及び現時点で確保できている指導者数を問う。

No	件名	発言の要旨
		(2)具体的にどの競技の指導者が何人不足しているのか問う。 (3)指導者がいない地域には部活動がなくなることになるが、それは地域の責任になるのか。 (4)これまでどの生徒でも参加できていた学校部活動がなくなり、条件によってはクラブ活動に参加できなくなることについて見解を問う。 (5)クラブと学校間の課題を解決する調整役を市教委はどれほど担っているのか、その具体的な内容及び件数を問う。 (6)クラブの安全管理と責任の所在を明確にすることについて所見を伺う。
4	中小規模の病院の固定資産税減免について	中小規模の病院の経営を支援するため、固定資産税を減免することについて、市長の所見を問う。
5	避難所にアレルギー対応食を備蓄することについて	全ての避難所へアレルギー対応食を備蓄できる具体的な完了時期を問う。
6	企業誘致とまちの活性化について	(1)企業誘致にどれほどの成果を上げているか。 また、本市からの移転を考えている事業所に対してどのような働きかけを行っているか、実行していることを個別具体的に問う。 (2)県から打診されたコストコ出店の話を、本市において誰がどう受け取って、市としてどのように検討し、どういう理由で断ったのか、時系列で意思決定の過程ごとに問う。 (3)コストコを上回る規模の出店計画があるのか否か、率直な見解を問う。 (4)コストコ出店を契機に周辺地域の振興や活性化につなげることについて、市長の見解を伺う。